

令和6年度 北しりべし廃棄物処理広域連合温暖化対策推進実行計画 推進状況

1. 実行計画の削減目標

2013（平成25）年度を基準年度として、計画期間の最終年度である2030（令和12）年度の二酸化炭素排出量を14％削減する。
（計画期間：2018（平成30）～2030（令和12）年度）

2. 令和6年度 温室効果ガス排出量実績

表1. 温室効果ガス排出状況

温 室 効 果 ガ ス	調 査 項 目		平成25年度 (トン-CO ₂)	令和6年度 (トン-CO ₂)	増 減 量 (トン-CO ₂)	増 減 率 (%)
二 酸 化 炭 素	廃 棄 物 焼 却		19,997	15,202	▲ 4,795	▲ 24.0
	燃 料 消 費	灯 油	1,053	156	▲ 897	▲ 85.2
		ガ ソ リ ン	3.4	1.2	▲ 2.2	▲ 65.1
		軽 油	40	31	▲ 9	▲ 22.1
	購 入 電 力		389	357	▲ 32	▲ 8.1
	売 却 電 力		▲ 2,170	▲ 1,860	310	14.3
	小 計		19,312	13,888	▲ 5,424	▲ 28.1
メ タ ン	廃 棄 物 焼 却		1.0	0.9	▲ 0.1	▲ 14.7
	自 動 車 使 用		0.0076	0.0051	▲ 0.0024	▲ 32.2
	小 計		1.0	0.9	▲ 0.2	▲ 14.8
一 酸 化 二 窒 素	廃 棄 物 焼 却		725	491	▲ 234	▲ 32.3
	自 動 車 使 用		0.18	0.04	▲ 0.13	▲ 76.1
	小 計		725	491	▲ 234	▲ 32.3
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコン		0.086	0.078	▲ 0	▲ 9.1
	小 計		0.086	0.078	▲ 0	▲ 9.1
温 室 効 果 ガ ス 排 出 量 合 計			20,039	14,380	▲ 5,659	▲ 28.2

※端数処理により割合・合計が合わない場合がある。

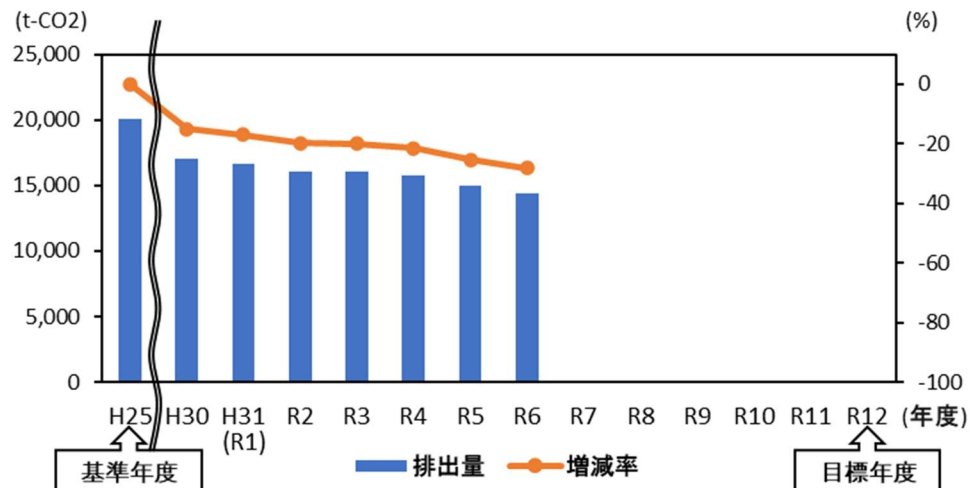


図 1. 温室効果ガス総排出量の推移

3. 結果の評価

令和 6 年度における温室効果ガス総排出量は 14,380 トンで、基準年度の平成 25 年度と比較すると 5,659 トン減少し、増減率は 28.2% 減であった。

調査項目別では、令和 6 年度から着工となったごみ焼却施設基幹的設備改良工事の影響により焼却炉の稼働日数が減少し、売却電力量が減少となったため、売却電力については二酸化炭素排出量が増加しているが、その他の項目の二酸化炭素排出量は減少した。(表 1)

温室効果ガス総排出量については、目標年度に向けて順調に減少している。(図 1)